

## 血液内科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

### 研究課題名

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) に対する R-CHOP 療法におけるビンクリスチン (VCR) からビンデシン (VDS) への変更の影響

### 研究機関

市立札幌病院 血液内科

### 研究責任者

血液内科／笠原 郁美

### 研究の目的

R-CHOP 療法の副作用の 1 つに VCR による末梢神経障害があります。VDS は VCR に比べ神経障害が軽度であるため、R-CHOP 療法を行っている患者さんで末梢神経障害を合併した場合、VCR の代替薬として VDS を使用することがあります。この薬剤の変更が DLBCL 患者さんの治療経過や効果に与える影響を検討することが研究の目的です。

### 研究の方法

#### 1 対象となる患者さん

DLBCL の患者さんで 2008 年から 2016 年 11 月までに診断され、R-CHOP 療法を 6 コース以上行った方。

#### 2 利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、検査結果、画像検査、抗癌剤の投与量、転帰

### 個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。**

### 【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目  
市立札幌病院血液内科